

長野市

障害者スポーツ協会

だより

発行

長野市大字鶴賀 276-10

長野市障害者スポーツ協会

山岸 泰

TEL・FAX 266 - 8834

新年のごあいさつ

会長 山岸 泰



明けまして
おめでとうございます
でございます

会員の皆様におかれましては、新年を迎えますますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

長野市障害者スポーツ協会は、障害者スポーツを振興し、心身の健康維持増進と社会参加意欲の向上を図るとともに、市民の障害者に対する理解を一層深めてもらえるよう努めております。

さて、第43回長野市障害者スポーツ大会が、2年ぶりに晴天に恵まれ成功裡に終えることができました。前回より参加者が減ってしまいましたが、パン食い競走などの競技もあり楽しい一日となりました。魅力あるスポーツ大会が続けられるよう創意工夫に努めてま

いりますので、次回大会には大勢の皆様にご参加いただきたいと思っております。

また、平成24年はロンドンで夏季オリンピックとパラリンピックが開催され、車いすテニスの国枝選手の2連覇達成の活躍には、本当に感動しました。10月には、長野市でアビリンピックが開催され、市内在住の選手が多数入賞を果たしました。この1月29日（火）からは、スペシャルオリンピッククロス冬季世界大会が、大韓民国で開催されます。長野市からフロアホッケーとアルペンスキーの選手として、6人の方が参加します。選手の皆さんが活躍できるように、応援をお願いいたします。今後とも、恒例のスポーツ大会やゲートボール大会の開催及びスポーツ講習会や会員の集いなど、皆様のご要望に応じて内容の拡充などを図ってまいりますので、ご意見や情報などをお寄せください。

協会加盟の競技団体の育成拡

大のための事業や選手の競技力向上のための事業にも積極的に取り組んでまいりますので、引き続き障害者スポーツ発展のために、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方にとりまして、幸多き年となりますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



年頭のごあいさつ

長野市障害福祉課
課長 西澤 潔

新年、明けまして

おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から本協会の発展にご理解とご協力を頂きますとともに、障害者スポーツの振興と社会参加の促進にお力添えを賜りまして、心から御礼を申し上げます。

さて、昨年は第33回全国障害者技能競技大会（愛称アビリンピック2012）が長野県で初めて開催され、長野市内の競技会場には、全国からの出

場選手302人を始め、延べ43700人もの方々が訪れました。このアビリンピックの開催を通じて、障害を持つ選手の優れた職業技能と物づくりへの熱い情熱を強く感じるとともに、今後、企業等における障害者雇用や障害者に対する社会の理解が一層高まることを切に願っております。

また、ご承知の通り、本年4月からは障害者自立支援法を改正した障害者総合支援法の施行等、障害福祉制度を取り巻く環境にも変化が予想されますが、今後も国等の動向について情報収集を図りながら、本市の障害福祉施策に遺漏のないよう対応して行きたいと考えております。

結びに、本年も長野市障害者スポーツ協会と連携を取りながら、障害者スポーツ事業の一層の振興と皆様の心身の健康の維持増進、社会参加意欲の高揚を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第12回 長野県障害者 スポーツ大会開催

平成 24 年 9 月 9 日 (日)、松本平広域公園陸上競技場を中心として、第 12 回長野県障害者スポーツ大会が開催されました。早朝に長野市役所を出発し、姨捨サービスイリアで松代・川中島方面の皆さんと合流し、バス 3 台で会場に向かいました。

長野市障害者スポーツ協会の関係団体などから、選手 82 人の参加をいただきました。選手の皆さんは、青空のもとで、精一杯、陸上競技やゲートボール・アーチェリーなどの 9 競技にチャレンジしました。

また、選手の付き添いや応援として、随行された皆さんも観覧席から声援を送り、一生懸命に応援をしてくださいました。

各選手は、持てる力を出し切れた様子で、競技後は安堵の表情が見られました。多くの選手が金メダルに輝き、中でも大会新記録で優勝を飾った市川勇樹さん、倉石勇さん、花崎千恵子さん、福澤守さん、保科絵美さん、渡邊進一さん、おめでとーございます。

優勝できなかった皆さんも、来年の大会での優勝を目指し

て、練習に励むことを決意しているようでした。
金メダル受賞者は、次のとおりです。

(敬称略・◎は大会新記録者)

【陸上競技】

☆競走

50 m

長澤 龍香 (個人)

100 m

五十嵐公二 (個人)

800 m

◎渡邊 進一 (柿の木農場)

1500 m

◎市川 勇樹 (個人)

本間 伸幸 (水内荘)

☆ソフトボール投げ

北澤 保代 (川中島支部)

◎倉石 勇 (個人)

月岡 勝江 (松代支部)

◎福澤 守 (個人)

◎保科 絵美 (個人)

松田 悦司 (柳原支部)

☆立ち幅跳び

齊藤 実 (個人)

【水泳競技】

25 m 自由形

角田 正司 (アップル卓球クラブ)

中村 透 (アップル障害者水泳クラブ)

50 m 自由形

友康 耕平 (個人)

25 m 背泳ぎ

石塚 實 (松代支部)

鷹野 康夫 (個人)

内山 一子 (アップル障害者水泳クラブ)

25 m 平泳ぎ

大矢 千秋 (個人)

50 m 平泳ぎ

佐々木奈美 (個人)

25 m バタフライ

塚田 剛也 (個人)

長原 昭子 (個人)

【卓球競技】

青木 まみ (アップル卓球クラブ)

居原 誠 (アップル卓球クラブ)

北村 伸二 (アップル卓球クラブ)

倉石 善博 (アップル卓球クラブ)



開会式

玉井 英雄

(アップル卓球クラブ)

遠田 昭一 (個人)

【ボウリング競技】

松本 一江 (水内荘)

吉沢英太郎 (水内荘)

【アーチェリー競技】

◎花崎千恵子 (個人)

村松 和子

(サンアロー信州アーチェリークラブ)

【フライングディスク競技】

小林 和幸 (ソラノシタ)

山岸 泰 (大豆島支部)

第12回 全国障害者 スポーツ大会出場者激励会

平成 24 年 10 月 13 日 (土) 15 日 (月) の日程で、岐阜県で開催された「第 12 回全国障害者スポーツ大会」に、長野県代表として出場された長野市在住の選手 3 人の激励会が、9 月 28 日 (金) に長野市役所市長応接室で開催されました。

代表選手は、陸上競技に出場した市川勇樹さん (篠ノ井)、渡邊進一さん (篠ノ井)、フライングディスク競技に出場した小林和幸さん (川中島) の 3 人です。

3 人は平成 23 年 9 月に行われた長野県障害者スポーツ大会で好成績を収め、全国大会への出場が決定しました。

驚澤市長から、「代表に選ばれることは素晴らしい。練習の成果を発揮して、金メダルを取ってほしい」と激励の言葉をいただき、激励金と記念品が贈呈されました。

選手は、それぞれ「3 位入賞できるように頑張りたい」「自己ベストを目指してメダルを取りたい」「金メダルを目指して頑張ります」と決意を語り、最後に山岸会長がお礼を述べ、代表選手 3 人を囲んで、記念撮影をしました。



全国障害者スポーツ大会に参加して

市川 勇樹

10月13日から15日まで、岐阜県で全国障害者スポーツ大会が開催されました。10月11日から6日間の日程で大会に参加しました。長野県代表選手に選んで頂いて嬉しかったです。当日までは、後悔しないように個人練習を一生懸命にやり、大会に備えました。

開会式の入場の時、私は旗手として重い旗を持ちながら歩きました。その後、皇太子様が挨拶をされました。初めて、皇太子様にお会いできました。そして、競技が始まり私が出場した種目は、陸上競技の1500mと800mです。

1日目は、1500mで、目標は入賞すること。結果は、4分39秒のタイムで3位でした。入賞できたことをとても嬉しく思います。銅メダルと花束をいただきました。

2日目は、800mでした。目標は同じ入賞ですが、結果は2分17秒のタイムで5位でした。スピードが足りなかったため、入賞が出来ず残念でした。次の大会に出るまでの間に、もっと速く走れるよう練習をしたいです。

3日目の競技はなかったの

で、長野県選手の応援をしました。選手の中には、最後まで諦めずに全力で走った人がおり、素晴らしかったです。指導者や役員の皆さん、六日間お世話になり、心から感謝しています。本当にありがとうございます。

全国障害者スポーツ大会結果

市川 勇樹さん	1500m	3位	800m	5位
渡邊 進一さん	800m	6位	500m	6位
小林 和幸さん	アキュラシー	7位		
ディスタンス	3位			

スペシャルオリンピックス 冬季世界大会出場者激励会

平成25年1月29日(火)〜2月6日(水)まで、大韓民国ピョンチャン(平昌)市で開催される「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」の日本代表選手として出場する長野市在住の選手6人の激励会が、11月16日(金)に、長野市役所市長応接室で開催されました。

代表選手はフロアホッケーに出場する赤沼大地さん(南堀)、丸山祥太さん(屋島)、久保田寛さん(篠ノ井)、小山海斗さん(真島)、宮澤幸博さん(中条)の5人とアルペンスキーに出場する田丸明衣さん(赤沼)です。

また、アルペンスキーの競技コーチとして、小林はま江さん(上野)も同行されます。

選手を代表して、丸山祥太さんが「今までの練習の成果を発揮して、頑張りますので、応援をお願いします。」と決意を語り、鷲澤市長から激励金と記念品が、選手に贈呈されました。最後に山岸会長が激励会のお礼を述べ、記念撮影をしました。

第12回 長野市障害者ゲートボール大会開催

10月14日(日)、南長野運動公園ゲートボール場で、長野市障害者スポーツ協会主催の第12回長野市障害者ゲートボール大会が開催されました。

晴天に恵まれ、爽やかな秋風の中で、参加5チームが和気あいあいとリンク戦を行いました。山岸会長のあいさつ、前年度優勝の信州新町チームから優勝杯の返還、1番くじを引いた大岡チームの選手宣誓、吉澤審判長から試合についての注意事項等の説明をお聞きして、試合が開始されました。

各チーム同士での交流が図られ、1時近くまで熱戦が展開されました。接戦の末、信州新町チームが優勝し、第10回から3連覇を達成しました。来年度開催される第13回長野

県障害者スポーツ大会のゲートボール競技への出場も決定しました。

ゲートボール大会の対戦結果による順位は次のとおりです。(敬称略)

優勝 信州新町チーム

吉沢勤・東方靖雄・本道美貞・中澤英雄・越山邦雄

準優勝 中条チーム

山本孝男・松本けさよ・小池紀子・和田小常・堀内正美・岡村英一

三位 混成チーム(個人参加者)

山岸泰・齊藤信枝・古旗安幸・福島五男・大屋善士

四位 聴障協GBチーム

小山義勝・藤倉俊子・山本浩嗣・山本晃佳・熊谷要・倉石勇・窪田敬一・窪田恵美子

五位 大岡チーム

広田清光・市川嘉文・山崎義輝・山崎悦子・小林登美子・田中淳雄



ゲートボール大会閉会式

